

令和２年 第６回飛騨市教育委員会定例会議事録（教科書採択）

- 1 日 時 令和２年７月２８日(火) 午後１時２５分 開会
- 2 場 所 飛騨市役所西庁舎２階 情報発信室
- 3 出席者 教育委員 沖畑 康子 教育長
田口 力三 委員、平澤 千人 委員、牛丸 洋子 委員
事務局 谷尻 孝之 事務局長、米澤 智 教育総務課長、
中村 裕幸 学校教育課長、畑上 あずさ 文化振興課長、
大庭 久幸 生涯学習課長、大始良 透 スポーツ振興課長

4 議事録

【日程第９ 議案第３０号 令和３年度使用小学校教科用図書の採択について】

○教育長

日程第９、議案第３０号を議題とします。事務局の説明を求めます。

○学校教育課長

議案第３０号、令和３年度使用小学校教科用図書の採択について説明します。飛騨市教育委員会が管理する小学校において令和３年度に使用する小学校教科用図書は、令和２年度岐阜県教科用図書飛騨地区採択協議会の協議の結果のとおり採択することについて説明します。

小学校においては、令和３年度学習指導要領完全実施に伴い昨年度は採択替えの年でした。今年度は新しく文科省の検定を受けた教科書はございませんので、昨年度のまま採択することになります。従いまして、７月１５日に行われました飛騨地区採択協議会では、令和３年度使用飛騨地区小学校教科用図書のとおり令和２年度と同一の教科用図書を令和３年度も採択するという選定結果が示されました。その選定結果をうけ、飛騨市教育委員会が小学校令和３年度使用飛騨市小学校用教科用図書についてそれぞれの教科用を使用することについて特別な意見がなければこの選定案で承認をお願いしたいと思えます。

○教育長

説明が終わりました。質疑、ご意見等は、ございませんか。

○教育長

質疑がないようですので、質疑を終結します。

日程第９、議案第３０号は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

○教育長

ご異議なしと認めます。

よって、日程第９、議案第３０号は、原案のとおり可決しました。

【日程第 10 議案第 31 号 令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について】

○教育長

日程第 10、議案第 31 号を議題とします。事務局の説明を求めます。

○学校教育課長

議案第 31 号、令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について、飛騨市教育委員会が管理する中学校において、令和 3 年度に使用する中学校教科用図書は、令和 2 年度岐阜県教科用図書飛騨地区採択協議会の協議の結果のとおり採択することについて、説明させていただきます。（飛騨地区採択協議会の協議の結果資料に基づき、下記概要のとおり説明）

（１）教科書採択の概要について

（２）飛騨地区採択協議会が選定した「令和 3 年度使用飛騨地区中学校教科用図書」について

以上、10 教科 16 種目の飛騨地区採択協議会で選定されました発行者の教科書について説明させていただきました。飛騨市教育委員会が管理する中学校において、令和 3 年度に使用する中学校教科用図書は、飛騨地区採択協議会の協議の結果のとおり採択することにつきまして、ご審議をお願いいたします。以上で説明を終わります。

○教育長

説明が終わりました。これより、質疑を行います。どの教科からでも結構ですので質疑、ご意見等は、ございませんか。

○田口委員

1 点目は、数学は、ここ 25 年ほど大日本だったはずだが、今年東京書籍に替わったという点と、2 点目ですが小学校は依然として大日本図書で、中学校が替わったという点、あとの教科は、小学校と中学校は大体同じ出版社ですが、なぜ数学だけ出版社が違うのか。3 点目、東京書籍は、ページ数が減らしてあって精選してあるということだが、大日本は補充問題も多いとあるが、この視点だと家庭学習や自主学習の関係での視点で資料が増えてきており東京書籍は逆のことをしているのではないか。これはかなり驚いている。啓林館から大日本に替わって、今年、東京書籍になる。はっきり言うと私も以前から東京書籍が良い本だと思っていた。今挙げた 3 点についてなぜなのか説明いただきたい。

○学校教育課長

研究員の調査報告で、東京書籍が評価された点は、全国学力調査において、飛騨地区の生徒の課題である「どこがまちがっているか説明し、正しく計算しなさい。」といった問題が多く掲載されていること、各ページに十分な余白があり、書き込みができることから、生徒が問題を解く過程で、思考を助け、より理解を深めることができる点、生徒が主体的に学べ、次の学習意欲につながるという点が優れていたという説明がありました。2 点目は、小中で違うことよりも、途中から教科書が変わる学年はどうかという問題がありました。これには、戸惑いはありますが、読みやすさや見やすさから、慣れて

いくと考えます。それから最後に、委員がおっしゃったとおり、教科書で問題を多くして副教材を無くす動きもありますが、東京書籍は、視点を捉えながら問題を厳選したと報告がありました。

○田口委員

付け足しますと、昔は若い初任の先生が多かったのかわかりませんが、大日本図書は見開き2ページで1時間分となっていて、板書も載せてある。子供たちのことも考えなくてはいけないのですが、キャリアの少ない先生のことも考えると、大日本は見開き2ページで授業が展開できるので初任の先生にはいいなと推していたのですがそのあたりはどうお考えですか。

○学校教育課長

その件については特に説明はありませんでしたが、私も個人的に見て、見開きになっていることは、委員のご指摘のとおりだと思います。

○田口委員

最後に感想ですが、いろいろ考えられて東京書籍にされたことと思います。今後、何らかの話題に上った時、これからの教科書選びの一つの視点になればいいなと思います。

○学校教育課長

委員のご意見を参考にさせていただき今後に役立てます。ありがとうございました。

○教育長

私からも一言申しあげますと、東京書籍は、授業の導入部分にスッキリと入りやすいということ。時間をかけて十分にできないことも多いのですが、この教科書は、短時間のうちに大事なポイントに到達できるという点がありました。

○平澤委員

自分たちの頃の教科書とは随分変わって来ている印象です。自分としては原寸大に作ってあるのがすごいと思う。あとは活躍しているアスリートや障がい者などに触れることで興味を持ちやすいよい教科書だと思います。教科書選びはいつも大変な作業だと感じていますが、よい教科書を選定されたと思います。

○教育長

今、平澤委員がおっしゃった点についてですが、近ごろの教科書はパソコンとタイアップしています。学校での学習内容もそのように変わって来ています。つまり社会との関りを大事にしている学んだことを社会で生かせるように組み込まれた教科書が多くなっていると思います。

○牛丸委員

私も同感で、自分たちが使っていたものとは全く違って、ITというかQRコードなど、デジタル化していて、教科書以外の資料がたくさんあるということで、これらを使いこなすのが非常に大変だと思いました。

○教育長

そうですね、これからの必須アイテムなってくると思います。

○教育長

他はよろしいですか。質疑も尽きたようですので、質疑を終結します。

日程第１０、議案第３１号は、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

○教育長

ご異議なしと認めます。よって、日程第１０、議案第３１号は、原案のとおり可決しました。